

公益社団法人日本語教育学会 2024 年度事業報告

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

《重点項目》

- ① 学会の理念とともに「日本語教育学の構造化」（2023 年 3 月報告書）を随時参照する形で、各委員会の事業を企画し、実施する。また、第 3 次中期計画の策定に向けて、同様の形で社会的研究課題・社会的課題を検討する。

今年度の事業の推進において、「日本語教育学の構造化」（2023 年 3 月報告書）と社会的研究課題・社会的課題とを随時参照した。第 2 次中期計画を振り返り、第 3 次中期計画の策定に向けて検討する中で、社会的研究課題・社会的課題を新たに設定して今年度同様の運営にあたるよりも、「日本語教育学の構造化」（2023 年 3 月報告書）のみを参照して各事業を企画し実施するほうが、共通の枠組みを参照しながらも企画の自由度を上げ、研究・実践の発展を促進することにつながって望ましいという認識が理事・監事、各委員会の委員長および委員の間で共有された。

- ② 日本語教育および本学会の研究・実践活動の成果と社会的役割について、日本語教育関係者および関心を持つより広い層に向けて発信し共有するために、ウェブサイト等を活用した広報活動を企画し展開する。

ウェブサイト（本体ページおよび啓発ページ「むすぶ」）やメールマガジン、YouTube、X、Facebook 等を活用して広報活動を企画・展開した。ウェブサイトのリニューアルは検証の結果、全体として良好であることがわかった。今後、この作業を通じて出された提案を踏まえて改善に取り組む予定である。

- ③ 第 3 次中期計画の事業と運営の構造改革を念頭に置き、これまでの事業等の評価を踏まえて、事業および事業の企画・準備・運営等に関する点検を実施する。

委員会・事務局・代議員などからの意見聴取を踏まえて、常任理事会・理事会において毎月、そして 2 回の全委員会委員長会議において、第 2 次中期計画の事業等の実施状況を振り返り、点検・評価に取り組んだ。そのうち、2 回は外部評価員によるワークショップ形式で振り返りと自己点検を実施した。その結果、事業の実施状況はおおむね問題がないことが確認された一方で、遂行するための各担当の負担が非常に大きいことが可視化された。こうした点検・評価活動の結果は、春季・秋季大会における説明会や啓発ページ「むすぶ」を通じて会員にも広く共有された。また、運営担当者の負担や逼迫した財政状況、学会の理念を有効に実現するための方策についても意見交換が活発に行われた。

年度末には、賛助会員への説明と意見交換がなされ、外部評価員からは第 2 次中期計画の評価報告書が提出された。

これらを踏まえ、年度末に第 3 次中期計画の骨子を策定した。

1. 研究・研修

- (1) 大会事業（所掌：大会委員会）。

春季・秋季の各大会を次の通り開催した

7. 春季大会

- (7) 開催日：2024年5月25日（土）、5月26日（日）
- (イ) 会場：オンライン開催
- (ウ) 参加費：＜事前登録＞会員 3,500 円（学生証あり 2,000 円）
＜当日申込＞一律 5,000 円
- (エ) 参加者数：800 名を見込んだところ 908 名の参加があった。

4. 秋季大会

- (7) 開催日：2024年11月16日（土）、11月17日（日）
- (イ) 会場：姫路市民会館
- (7) 参加費：＜事前登録＞会員 3,500 円（学生証あり 2,000 円）
＜当日申込＞一律 5,000 円
- (ウ) 参加者数：600 名を見込んだところ、681 名の参加があった。

ウ. 大会委員会会議を、4月20日、8月17日、11月2日、2月15日に開催した。

(2) 支部活動事業（所掌：支部活動委員会）

7. 支部集会

支部集会を次の通り行った。

- (7) 第1回支部集会（九州・沖縄支部）
7月20日（土）、福岡県中小企業振興センター、「研究発表（口頭・ポスター）」、「交流ひろば」、参加者数 100 名を見込んだところ、49 名の参加があった。
- (イ) 第2回支部集会（北海道支部）
8月31日（土）、北見工業大学、「研究発表（ポスター）」「交流ひろば」、その他委員企画、参加者数 50 名を見込んだところ、58 名の参加があった。
- (ウ) 第3回支部集会（中国支部）
10月26日（土）、岡山大学津島キャンパス、テーマは「岡山市における地域日本語教育のさまざまなとり組み-外国人市民とともに創る活力ある地域づくりを目指して-」、「研究発表（口頭・ポスター）」、「交流ひろば」、その他委員企画、参加者数未定ではあったが 68 名の参加があった。
- (エ) 第4回支部集会（関西支部）
2025年3月15日（土）、追手門学院大学、「研究発表（口頭・ポスター）」、参加者 100 名を見込んだところ、82 名の参加があった。

4. 支部活動

支部活動を次の通り行った。

- (7) 中部支部活動
7月6日（土）、愛知淑徳大学、講演・ディスカッション、テーマは「法令遵守と外国人雇用、そして日本語教育に求められる役割」、参加者数 50 名を見込んだところ 32 名の参加があった。
- (イ) 関東支部活動
8月25日（日）、オンライン開催、講演・ワークショップ、テーマは「地域でつながる子どもの日本語学習支援」、参加者数 50～100 名を見込んだところ 47 名の参加があった。
- (ウ) 四国支部活動

- a. 6月8日（土）、愛媛大学、報告会「日本語教育学会 2024（令和6）年度春季大会参加報告会」、参加者数 30 名を見込んだが、参加者数未測定。
- b. 12月13日（金）、オンライン開催、報告会「日本語教育学会 2024（令和6）年度秋季大会参加報告会」、参加者数 30 名を見込んだところ 33 名の参加があった。
- c. 12月14日（土）オンライン開催（四国大学と本学会との共同主催）公開シンポジウム、テーマは、「四国で求められる日本語教育人材養成について考える」、参加者数 50 名を見込んだところ 26 名の参加があった。
- (エ) 北陸支部活動

1月25日（土）、オンライン開催、事例報告「多文化共生の時代を迎えて - 外国人散在地域におけるエスニック・コミュニティと日本語教育の役割 -」、18 名の参加があった。
- (オ) 秋季大会

2024 年 11 月 16 日（土）に「交流ひろば」、17 日（日）「地域発信企画」を企画・実施した（秋季大会開催地が兵庫県姫路市のため関西支部所掌であるが、大会は委員会全体での協力体制とした）。参加者は 100 名を見込んだが、参加者数未測定。
- (カ) 東北支部活動

12月14日（土）、オンライン開催、講演、テーマは「地域の日本語教室の立ち上げと運営」参加者数 60 名を見込んだところ 37 名の参加があった。
- (キ) その他

支部活動応募企画の状況により別途支部活動を企画・実施する計画であったが、上記報告以外の活動はなかった。
- ウ. 2024 年度支部の公募状況
 - (7) 2024 年 7～9 月開催の発表および出展応募
 - a. 3月25日締切：
 - (a) 九州沖縄（口頭：応募 8 件（うち採択 3 件）・ポスター：7 件（うち採択 6 件））
 - (b) 北海道（ポスター：4 件（うち採択 1 件））
 - b. 5月15日締切：
 - (a) 九州沖縄（交流ひろば：応募 8 件（うち出展 8 件））
 - (b) 北海道（交流ひろば：応募 6 件（うち出展 6 件））
 - (イ) 2024 年 10～12 月開催の発表および出展応募
 - a. 6月25日締切（発表）：
 - (a) 中国（口頭：応募 1 件（うち採択 1 件）・ポスター：応募 3 件（うち採択 2 件））
 - b. 8月15日締切（交流ひろば）：
 - (a) 秋季大会（交流ひろば：応募 36 件（うち出展 24 件））、
 - (b) 中国（交流ひろば：応募 6 件（うち出展 6 件））
 - (ウ) 2025 年 1～3 月開催の発表および出展応募
 - a. 9月25日締切（発表）：

関西（口頭：応募 12 件（うち採択 7 件）・ポスター：応募 7 件（うち採

- 択 7 件))
 b. 11 月 15 日締切 (交流ひろば) :
 関西 (交流ひろば : 募集せず)
 (エ) 2025 年 4~6 月開催の発表および出展応募
 a. 12 月 25 日締切 (発表) :
 募集なし
 b. 2 月 15 日締切 (交流ひろば) :
 募集なし
 (オ) 2025 年 7~9 月開催の発表および出展応募
 a. 3 月 25 日締切 (発表) :
 (a) 九州沖縄 (口頭 : 応募 8 件、ポスター : 応募 6 件 (査読中))
 b. 5 月 15 日締切 (交流ひろば) :
 (a) 九州沖縄募集中
 Ⅰ. 支部活動委員会会議を 5 月 25 日、8 月 28 日、12 月 7 日に開催した。
 チャレンジ支援事業 (所掌 : チャレンジ支援委員会)
 年齢や経験、業績にかかわらず、新規に日本語教育関連の研究や実践に取り組む
 人に対する支援・育成をめざした事業を行った。
 Ⅱ. <はじめて系>日本語教育初心者向けの催しを企画・実施した。
 (ア) 大会会場で、はじめて大会に参加する方に向け、以下を実施した。
 a. 「わかば・コンシェルジュ」(秋季大会のみ)
 ※時間内自由入退場制のため参加者数は特定できず。
 b. オリエンテーション「わかばさんいらっしゃい」
 ※春季大会は、事前動画閲覧 262 回。参加者は各大会で 10 名を見込
 んだところ、春季大会は当日の Zoom に 9 名、秋季大会は 17 名の参加
 があった。
 (イ) 年 2 回 (6 月 25 日、12 月 25 日) の大会発表応募締切にあわせて、はじ
 めて発表応募をする方に向け、オンラインで以下の各イベントを実施し
 た。
 a. 研究や発表のアイディアを話し合う「おせっかい侍の発表応募支援
 STEP1 交流ひろばのタネ探し」、2025 年 2 月 23 日、参加者数 3 名。
 b. 実際の発表応募書類作成に向けての「おせっかい侍の発表応募支援
 STEP2 セミナー・個別相談」、2024 年 8 月 31 日、参加者 6 名。
 c. 発表応募要旨に事前アドバイスをする「おせっかい侍の発表応募支援
 STEP3 発表応募原稿チェック」(メールによる書面やりとり)、2024 年
 6 月 1 日 (土) ~15 日 (土) 参加者 1 名。12 月 1 日 (日) ~15 日
 (日) 参加者 1 名。
 Ⅲ. <これから系>日本語教育関係者にとっての新情報を提供する催しを企画・
 実施した。
 (ア) 明日のための学びの場 (通称 : あしたば)「災間社会を共に生きる」をオ
 ンラインで実施した。2024 年 8 月 25 日 (日)、申込者 20 名。
 Ⅳ. <キャリア系>日本語教育をキャリアとして考える方に向けた催しを実施し
 た。
 (ア) オンラインで、先輩との対話の場「ぷらさ da わかば」を実施した。
 2024 年 8 月 31 日 (土)、参加者 5 名。

7. くはじめて系>日本語教育初心者向けの催しを企画・実施した。
- (7) 大会会場で、はじめて大会に参加する方に向け、以下を実施した。
- a. 「わかば・コンシェルジュ」(秋季大会のみ)
- ※時間内自由入退場制のため参加者数は特定できず。
- b. オリエンテーション「わかばさんいらっしゃい」
- ※春季大会は、事前動画閲覧 262 回。参加者は各大会で 10 名を見込んだところ、春季大会は当日の Zoom に 9 名、秋季大会は 17 名の参加があった。
- (4) 年 2 回(6 月 25 日、12 月 25 日)の大会発表応募締切にあわせて、はじめて発表応募をする方に向け、オンラインで以下の各イベントを実施した。
- a. 研究や発表のアイディアを話し合う「おせっかい侍の発表応募支援 STEP1 交流ひろばのタネ探し」、2025 年 2 月 23 日、参加者数 3 名。
- b. 実際の発表応募書類作成に向けての「おせっかい侍の発表応募支援 STEP2 セミナー・個別相談」、2024 年 8 月 31 日、参加者 6 名。
- c. 発表応募要旨に事前アドバイスをする「おせっかい侍の発表応募支援 STEP3 発表応募原稿チェック」(メールによる書面やりとり)、2024 年 6 月 1 日(土)～15 日(土)参加者 1 名。12 月 1 日(日)～15 日(日)参加者 1 名。

- ウ. <キャリア系>日本語教育をキャリアとして考える方に向けた催しを実施した。
- (7) オンラインで、先輩との対話の場「ぶらさ da わかば」を実施した。
- 2024 年 8 月 31 日（土）、参加者 5 名。

- (イ) 「キャリアパスフォーラム第5弾—さまざまなエリアの日本語教育現場—」をオンラインで実施した。2025年2月15日(土)、参加者48名。
- Ⅰ. チャレンジ支援委員会会議を、5月16日、8月22日、10月18日、2月17日に開催した。

(4) 表彰事業(所掌:表彰委員会・授賞候補選考委員会・学会誌委員会・大会委員会)

7. 2023年度各賞の授与

- (7) 日本語教育学会賞を浜田麻里氏に、奨励賞を櫻井千穂氏に、功労賞を遠藤織枝氏に授与した。
- (イ) 『日本語教育』論文賞を以下の論文に授与した。
「外国人散住地域における外国人住民対応ローカル・ガバナンス構造の検討—ライフキャリア形成を支える地域日本語教育の視点から—」
(執筆:家根橋伸子氏・山本晋也氏、掲載号:185号)
- (ウ) 学会活動貢献賞の授与を以下の会員に授与した。
和泉元千春氏、岩田一成氏、内海由美子氏、川端一博氏、小林ミナ氏、齋藤ひろみ氏、砂川裕一氏、俵山雄司氏、中井陽子氏、新山忠和氏、西村学氏、松下達彦氏、三代純平氏、村澤慶昭氏

Ⅰ. 2024年度各賞の選考

- (7) 第1回理事会で、各賞授賞候補選考委員会委員を承認した。
- (イ) 学会賞・奨励賞・功労賞表彰規程第7条に規定された推薦できる会員(理事、監事、代議員、すべての委員、授賞の翌年度から4年間の学会賞・奨励賞・功労賞の授賞者)に授賞候補推薦依頼を9月2日に行った。
- (ウ) 第6回常任理事会で、『日本語教育』論文賞の第1選考部会部会員を承認した。
- (エ) 第4回常任理事会で、大会若手優秀発表賞の選考部会部会員を承認した。
- (オ) 12月25日の締切までに推薦を受けた候補者について2月14日の授賞候補選考委員会で審議し、学会賞授賞候補者1名、奨励賞授賞候補者1名、功労賞授賞候補者1名を選考した。
- (カ) 12月に選考部会による論文賞の第1次選考を行い、推薦を受けた論文3編について、2月14日の授賞候補選考委員会で審議し、2編の論文を選考した。
- (キ) 学会活動貢献賞表彰規程第5条の規定により、表彰委員会から推薦を受けた候補者について、2月14日の授賞候補選考委員会で審議し、学会活動貢献賞授賞候補者3名を選考した。

Ⅱ. 受賞者の活動の成果を社会に還元できるよう、各委員会が受賞者を講師等として企画を実施する場合の招聘費用を補助するため、各委員会に各賞受賞者招聘費用補助制度の申請を募集した。その結果、調査研究推進委員会による2024年度秋季大会調査研究推進セミナーの講師招聘費用に対する補助を行った。

Ⅰ. 2024年度大会若手優秀発表賞を以下の会員に授与した。

- (7) 2024年度春季大会
 - a. 武中清香氏(口頭発表「YNU 書き言葉コーパスから見る補助動詞テミ

ルの学習者の 使用傾向に関する一考察」)

- b. 夏雨佳氏 (ポスター発表「ナラティブの反応部と後続話題から見る協働構築—日本語母語場面・中国語母語場面・日中接触場面の比較—」)

(イ) 2024 年度秋季大会

- a. 小幡佳菜絵氏 (口頭発表「海外継承日本語教育における“Invisible Work” —日中国際結婚家庭日本人母親の「葛藤」要因に関する社会言語学的一考察—」)
- b. 山西智香氏 (ポスター発表「日本人看護師への日本語教育養成についての検討—プラチナナースの活用を踏まえて—」)

オ. 表彰委員会会議

表彰委員会会議を 4 月 8 日、7 月 22 日、12 月 16 日に開催した。

(5) 研修講座の実施 (所掌: 執行役員・常任理事会)

- 7. 宮地裕基金人材育成研修講座事業の募集により採択された以下の講座に対して、経費支援を行った。
 - (7) 「日本語教育関係者のためのジェンダーへの気づき」(6 月 15 日、6 月 22 日、6 月 29 日、7 月 13 日、7 月 20 日)。参加者数 25 名。
 - (イ) 「日本語教育関係者対象ケースメソッド教授法セミナー」(2025 年 1 月 25 日、2 月 1 日、2 月 8 日)。参加者数 27 名。
- イ. 2023・2024 年度採択者オンライン意見交換会を 4 月 24 日に開催した。

2. 調査研究

(1) 学会誌事業 (所掌: 学会誌委員会)

- 7. 学会誌『日本語教育』(電子版・冊子版)の発行 (所掌: 学会誌委員会)
本年度発行済み学会誌は以下のとおりである。
 - (7) 187 号: 2024 年 4 月発行。寄稿論文 5 編、論文 11 編、研究ノート 1 編。254 頁。
 - (イ) 188 号: 2024 年 8 月発行。寄稿論文 1 編、論文 5 編。90 頁。
 - (ウ) 189 号: 2024 年 12 月発行。論文 5 編。82 頁。
 - (エ) 190 号: 2025 年 4 月発行に向けた準備を進めた。
 - (オ) 191 号: 2025 年 8 月発行に向けた準備を進めた。
- イ. 2006・2007 年度発行の学会誌『日本語教育』掲載論文を J-Stage で公開した。
- ウ. 2005～2000 年度に発行の学会誌『日本語教育』掲載論文を J-Stage で公開するための許諾手続きを進めた。
- エ. 2023 年度『日本語教育』論文賞受賞論文の概要紹介 (英語版) をウェブサイトで公開した。
- オ. 学会誌委員会会議
学会誌委員会会議を 7 月 14 日、11 月 10 日、3 月 16 日に開催した。

(2) 調査研究推進事業 (所掌: 調査研究推進委員会)

- 7. 春季大会で一般公開プログラム「複言語・複文化主義と日本語教育—教師養成及び教育実践現場の課題と展望—」を企画・実施した。参加者数 745 名。
- イ. 秋季大会で調査研究推進セミナー「実践研究のすすめ—実践と理論の往還の

方法一」を企画し・実施した。参加者数は 70 名。

- ウ. 2025 年度春季大会で開催する一般公開プログラムの企画立案および広報を進めた。
- エ. 2025 年度秋季大会で開催する調査研究推進セミナーの企画立案を進めた。
- オ. 調査研究推進委員会会議
調査研究推進委員会会議を 6 月 10 日、8 月 28 日、12 月 18 日に開催した。

(3) 社会啓発事業（所掌：社会啓発委員会）

- ア. 広報委員会と協力し、啓発ページ「むすぶ」に、日本語教育の関連サイトリンク集を設置した。
- イ. 動画配信事業において、NKG TV「シリーズ：これからの日本語教育人材の養成を考える」に関する下記の動画を配信した。
 - (ア) 第 2 回「日本語教師養成の制度と大学における新たな日本語教員養成のあり方」
 - (イ) 第 3 回「大学と日本語教育機関連携による日本語教師養成」
 - (ウ) 第 4 回「地域の日本語教育人材をどのように養成するか」
- ウ. 日本語教育に関わる社会的動向に関する研究業績・政策・立法関連等の情報や資料の収集は、実施しないこととした。
- エ. 日本語教育推進議員連盟第 20 回および第 21 回総会資料を公開した。
- オ. 株式会社コングラントと契約し、寄附金決済ページを設置した。
- カ. 秋季大会において一般公開プログラム「外国介護人材の日本語教育はどうあるべきかー協働への新たな文脈」を開催した。参加者数は約 280 名。
- キ. 社会啓発委員会会議を、9 月 11 日、12 月 17 日に開催した。

(4) 受託事業（所掌：委託事業検討特別委員会・BJT ビジネス日本語能力テスト特別委員会）

- ア. 文部科学省委託事業「現職日本語教師研修プログラム普及事業」【中堅】（所掌：委託事業検討特別委員会）について申請に基づき事業を行った。
- イ. 文部科学省委託事業「「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発・普及事業：生活分野」（所掌：委託事業検討特別委員会）について申請に基づき事業を行った。
- ウ. 公益財団法人日本漢字能力検定協会が実施している BJT ビジネス日本語能力テスト事業に関し、同協会からの事業の委託を受け、テストモニターおよび調査研究業務を行った（所掌：BJT ビジネス日本語能力テスト特別委員会）。

(5) 受託事業成果活用（所掌：文部科学省委託事業成果活用特別委員会）

本会が受託した文部科学省委託「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」の受託業務は終了したが、本会の研究・教育実践の発展および社会的貢献のために公開している同事業の資料や実践成果の管理を行った。

3. 情報交流事業

(1) 広報事業（所掌：広報委員会）

- ア. ウェブサイトの管理・運営
2022 年度に改修したウェブサイトを引き続き運営した。社会啓発委員会と協

力し、啓発ページ「むすぶ」に、日本語教育の関連サイトリンク集を設置した。

ウェブサイトの改修結果の検証を行った。

- イ. 各委員会と連携し、学会ウェブサイト、学会メールマガジン、X、facebook、YouTube を有効活用した広報活動を展開した。
- ウ. 学会パンフレットについては引き続き検討事項とする。
- エ. 広報委員会会議を、6月12日、8月14日、に開催した。

4. 連携推進事業

(1) 国際連携事業（所掌：国際連携委員会）

- ア. 世界12か国・地域の学会で構成する「日本語教育グローバル・ネットワーク（GN）」事務局としての役割を引き続き担い、GNの活動を推進した。
- イ. GNウェブサイトの管理・運営を行った。
- ウ. ICJLEが再開された後のGNプロジェクト「グローバルにつながるオンライン交流会」の目的、位置づけを、GN代表者会議において協議した。
- エ. 2024年に米国で実施した「日本語教育国際研究大会 米国・カナダ」の開催準備に協力した。また、2025年度以降の「日本語教育国際研究大会」の実施について、GN代表者会議において協議し、2年後の2026年秋に台湾で開催することとなった。
- オ. 2024年度「日本語教育グローバル人材奨励プログラム」を実施した。プログラムへの応募は12件あり、7件が採択となったが、うち1件が辞退となった。
- カ. 国際連携委員会主催のイベントとして「世界中の日本語教育関係者のためのオンライン交流会」を実施した（2025年3月22日）。
- キ. ウェブサイトコンテンツ「海外コラム」の掲載はなかった。「世界の日本語教育」は1件掲載をおこなった。
- ク. 国際連携委員会会議を、5月11日、7月20日、8月21日、11月11日、12月14日、2月17日に開催した。

(2) 連携協力事業（所掌：執行役員・連携協力委員会）

- ア. 言語系学会連合
言語系学会連合（加盟39学会）の活動に幹事学会として継続して参加し、協力をした。なお、催し物の企画や事務局機能を担う幹事学会としての役目は2023年度末で終了している。
- イ. Net-J
Net-J（当学会他6研究会が加盟）の活動に参加協力し、互いの情報交流や情報共有、連携を推進している。また、春季大会で「Net-J研究会紹介ブース」を設置し、参加した各加盟団体による説明会等を実施した。
- ウ. 日本語教育関係機関・団体との協力
次の事業に対し、要請により後援を行った。
 - (ア) 第63回外国人のための日本語弁論大会（一般財団法人国際教育振興会）《実施日》2024年10月19日
 - (イ) 第25回長安杯中国大学生日本語プレゼンテーション大会（NPO法人環境研究と教育国際交流協会）《実施日》2024年11月2日
 - (ウ) 第35回第二言語習得研究会全国大会（第二言語習得研究会）《実施日》2024年12月14日-15日

- (エ) 第 22 回全養協公開講座「認定法下で求められる日本語教員養成・研修～登録機関、登録日本語教員に期待されること～」(一般社団法人全国日本語教師養成協議会)《実施日》2025 年 1 月 25 日
- (オ) 第 37 回全国専門学校 日本語学習外国人留学生日本語弁論大会(全国専門学校日本語教育協会)《実施日》2025 年 2 月 7 日
- (カ) 第 1 回広島大学インドネシア人の日本語作文コンクール(国立大学法人広島大学)《実施日》2025 年 3 月 16 日
- (キ) 2025 日本留学・就職地域観光フェア in Taipei(一般社団法人外国人留学生高等教育協会)《実施日》2025 年 4 月 19 日-20 日
- (ク) 2025 日本留学・就職(技術・人文知識・国際業務・介護・特定技能)フェア in Indonesia(一般社団法人外国人留学生高等教育協会)《実施日》2025 年 5 月 19 日-20 日
- (ケ) 令和 7 年度日本語教育能力検定試験(公益財団法人日本国際教育支援協会)《実施日》2025 年 10 月 26 日
- (コ) 2025 年度 BJT ビジネス日本語能力テスト(公益財団法人漢字能力検定協会)《実施日》CBT 方式により毎日

5. 会務運営

(1) 代表理事・業務執行理事共通の会務運営にかかわる業務

7. 執行部会議

- (ア) 4 月 9 日 第 1 回 (zoom)
- (イ) 5 月 7 日 第 2 回 (zoom)
- (ウ) 6 月 7 日 第 3 回 (zoom)
- (エ) 7 月 16 日 第 4 回 (zoom)
- (オ) 9 月 11 日 第 5 回 (zoom)
- (カ) 10 月 9 日 第 6 回 (zoom)
- (キ) 11 月 12 日 第 7 回 (zoom)
- (ク) 12 月 9 日 第 8 回 (zoom)
- (ケ) 1 月 11 日 第 9 回 (zoom)
- (コ) 2 月 6 日 第 10 回 (zoom)
- (サ) 3 月 6 日 第 11 回 (zoom)

4. その他会議

- (ア) 5 月 24 日 執行部による中期計画検討会議(対面)
- (イ) 11 月 16 日 17 日 大会会場での打合せ(対面)
- (ウ) 12 月 19 日 事務局との打合せ(対面)

ウ. 説明会参加

- (ア) 5 月 26 日 春季大会説明会「日本語教育学会の現状とこれから」
- (イ) 11 月 19 日 秋季大会説明会「日本語教育学会のこれからを考える」

エ. 外部対応

- 1 月 17 日 文部科学省総合教育政策局日本語教育課との打合せ(対面と zoom)

(2) 西口光一代表理事 担当の会務運営にかかわる業務

- 7. 8 月 1 日～8 月 3 日 2024 年日本語教育国際研究大会 渡米参加
- 4. 7 月 22 日 第 7 回日本語教育推進関係者会議に出席

- ウ. 11月25日 第8回日本語教育推進関係者会議に出席
- エ. 12月18日 第9回日本語教育推進関係者会議に出席

(3) 小澤伊久美代表理事 担当の会務運営にかかわる業務

7. 中期計画

- (ア) 5月15日 事務局との打合せ (zoom)
- (イ) 6月26日 事務局との打合せ (zoom)
- (ウ) 8月15日 事務局との打合せ (zoom)
- (エ) 8月20日 事務局との打合せ (zoom)
- (オ) 8月20日 評価員との打ち合 (zoom)
- (カ) 10月4日 事務局との打合せ (zoom)
- (キ) 10月9日 事務局との打合せ (zoom)
- (ク) 11月22日 評価員との打合せ (zoom)
- (ケ) 2月16日 事務局との打合せ (zoom)

4. 外部対応

- (ア) 6月14日 第20回日本語教育推進議員連盟総会出席
- (イ) 10月25日 一般公開プログラム等助成申請 一般社団法人尚友倶楽部往訪
- (ウ) 10月27日 第21回日本語教育推進議員連盟総会出席
- (エ) 1月25日 第22回全養協公開講座出席

(4) 土井佳彦業務執行理事 担当の会務運営にかかわる業務

7. 会計・契約締結

- (ア) AIG 損害保険株式会社と理事保険の契約
- (イ) 社会保険労務士法人経営管理センターと契約

4. 法人業務・労務・事務局管理

規程類の整理

ウ. 会員関係

2月27日 賛助会員の集の開催

エ. 法務

- (ア) コンプライアンス WG
- 9月10日 打合せ (zoom)

(5) 代議員総会・理事会

7. 代議員総会の開催 (5月26日にオンラインにより開催)

第1号議案 2023年度事業報告及び決算報告の承認について

第2号議案 定款の一部改定について

〔報告事項〕

- (1) 2024年度事業計画及び収支予算について
- (2) 2023年度各賞受賞者・受賞論文について

4. 代議員懇談会の開催 (11月29日にオンラインにより開催)

第3次中期計画の策定に向けて、本学会の運営上の課題を共有し、解決の方向性について意見交換を行った。今回はファシリテーターとして外部評価員2名を迎え、代議員対象のワークショップという形式で実施した。

ウ. 理事会の開催

第1回理事会（5月10日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 第12回定時代議員総会の開催通知案について
- 2 2023年度事業報告について
- 3 2023年度決算報告について
- 4 代表理事・業務執行理事の執行状況の報告について
- 5 定款の一部改定について
- 6 委託事業検討特別委員会の委員候補について
- 7 後援等名義使用規程の改定について
- 8 2024年度授賞候補選考委員会委員の選出について
- 9 『日本語教育』論文賞表彰規程の改定について
- 10 社会啓発委員会委員の退任について
- 11 2025年度秋季大会の開催地について

〔報告事項〕

- 1 第二次中期計画評価員選任とスケジュールについて

〔その他〕

- 1 各規程の見直しについて

第2回理事会（12月22日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024-2025年度委員公募の選考結果について
- 2 2024-2025年度代議員選挙・理事改選にかかる委員の選定について
- 3 2025年度会長・副会長選出方法について
- 4 会員対応業務の変更について
- 5 委託事業検討委員会設置運営規程の改定について
- 6 規程類の変更について
- 7 理事・監事の保険について
- 8 大会懇親会の在り方について

〔報告事項〕

- 1 2024年度秋季大会概況について
- 2 2024年日本語教育国際研究大会（ICJLE2024）について
- 3 2025年度日本語教育グローバル人材奨励プログラムの募集について
- 4 2025年度春季大会発表募集テーマについて
- 5 2025年度春季大会一般公開プログラムについて
- 6 2025年度秋季大会一般公開プログラムについて
- 7 2025年度宮地裕基金人材育成研修講座の応募要領について
- 8 2023年度宮地裕基金人材育成研修講座および採択者意見交換会について
- 9 「研究成果投稿に際しての「研究倫理」に関する留意事項」の公開について
- 10 2025年度チャレンジ支援委員会「はじめて系」イベント変更提案について
- 11 中国支部集会でのクレームについて
- 12 2024年度中間事業報告と予算執行状況報告について

- 13 「賛助会員の集い」の開催日程について
- 14 就業規則について
- 15 登記書類の手続き状況について
- 〔その他〕
- 1 第3次中期計画骨子の検討について
- 2 2024年度学会賞・奨励賞・功労賞の授賞候補推薦について

第3回理事会（3月20日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 第13回定時代議員総会議事日程（案）について
- 2 代表理事・業務執行理事の執行状況の報告について
- 3 2025年度重点項目（案）・事業計画（案）・予算（案）について
- 4 2025年度理事・監事候補者（案）について
- 5 2025年度常置委員会委員（案）について
- 6 第3次中期計画骨子（案）について
- 7 常任理事会運営規程と理事会運営規程の改定（案）について
- 8 BJT ビジネス日本語能力テスト特別委員会の終了に伴う設置運営規程の廃止について
- 9 文部科学省委託事業成果活用特別委員会の終了に伴う設置運営規程の廃止について
- 10 委託事業検討特別委員会委員（案）について
- 11 広報委員会委員の退任について
- 12 内閣府提出の事業変更認可申請について
- 13 2024年度各賞授賞候補（案）について
- 14 2025年度宮地裕基金人材育成研修講座の応募選考について
- 15 2025年度BJT ビジネス日本語能力テスト委託業務について
- 16 令和7年度文部科学省委託事業の申請について

〔報告事項〕

- 1 『日本語教育』191号（2025年8月25日刊行）の寄稿について
- 2 『日本語教育』193号（2026年4月25日刊行）の特集について
- 3 2025年度春季大会一般公開プログラムについて
- 4 地域発信企画と交流ひろばの運営方法の改定について
- 5 2025年度代表理事の選出方法について
- 6 2025年度事務局体制について
- 7 就業規則等の改定および設置について
- 8 コンプライアンス・ワーキンググループのアンケートについて
- 9 大会におけるハラスメントに対する対応について
- 10 2025年度第1回常任理事会・理事会について

第1回決議の省略（7月5日可決）

〔決議事項〕

- 1 令和6年度文部科学省委託「現職日本語教師研修プログラム普及事業 日本語教師（中堅）に対する研修」事業担当チームの承認
- 2 令和6年度文部科学省委託「『日本語教育の参照枠』を活用した教育モデル開発・普及事業」事業担当チームの承認

第 2 回決議の省略（8 月 15 日可決）

〔決議事項〕

- 1 2024 年度春季大会 大会若手優秀発表賞受賞候補者の承認

第 3 回決議の省略（9 月 13 日可決）

〔決議事項〕

- 1 2025 年度における宮地裕基金人材育成研修講座の実施の承認

第 4 回決議の省略（1 月 20 日可決）

〔決議事項〕

- 1 第 7 回代議員選挙ブロック別代議員数の承認

第 5 回決議の省略（2 月 3 日可決）

〔決議事項〕

- 2 2024 年度秋季大会 大会若手優秀発表賞受賞候補者の承認

I. 常任理事会の開催

第 1 回常任理事会（4 月 21 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2023 度第 8 回常任理事会議事録案について
- 2 2024 年度第 1 回理事会議事日程案について
- 3 第 12 回定時代議員総会の開催通知案について
- 4 2023 年度事業報告について
- 5 2023 年度決算報告について
- 6 定款の一部改定について
- 7 理事会・常任理事会における議事の提案等にかかわる要領の一部改定について
- 8 『日本語教育』論文賞表彰規程の改定について
- 9 寄附金決済システムの業者変更について

〔報告事項〕

- 1 研究倫理の改定検討方針について
- 2 大会若手優秀発表賞 評価票改定方針について
- 3 第二次中期計画評価員選任について
- 4 後援名義使用申請について
- 10 各規程の見直しについて

〔その他〕

- 1 令和 6 年能登半島地震に対する支援活動の状況について
- 2 2025 年度秋季大会の会場について

第 2 回常任理事会（6 月 23 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024 度第 1 回常任理事会議事録案について
- 2 「第 63 回 外国人のための弁論大会」への審査員長の派遣について
- 3 第二次中期計画の評価活動について

- 4 2024 年度秋季大会昼休み説明会使用申請について
- 5 「研究成果投稿に際しての「研究倫理」に関する留意事項」文言確定について

〔報告事項〕

- 1 2024 年度春季大会概況について
- 2 2024 年度春季大会一般公開プログラム概況について
- 3 宮地裕基金人材育成研修講座 2023 年度実施研修および採択者意見交換会について
- 4 後援名義使用申請について

第 3 回常任理事会（7 月 28 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024 度第 2 回常任理事会議事録案について
- 2 「第 63 回 外国人のための弁論大会」への審査員長としての出席とその謝金の取り扱いについて
- 3 2024-2025 年度委員改選手続きに関する基本方針について
- 4 2024 年度春季大会 大会若手優秀発表賞授賞候補者について
- 6 2025 年度における宮地裕基金人材育成研修講座の実施について

〔報告事項〕

- 1 GN 代表者会議等、国際連携委員会からの報告について
- 2 第二次中期計画の評価活動について
- 3 後援名義使用申請について

第 4 回常任理事会（9 月 29 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024 度第 3 回常任理事会議事録案について
- 2 2024-2025 年度委員改選手続きの公募書類一式（種類等）について
- 3 2024 年度秋季大会 大会若手優秀発表賞選考部会員の指名について
- 4 2024 年度秋季大会懇親会について
- 5 2025 年度春季大会一般公開プログラムについて
- 6 2025 年度秋季大会一般公開プログラムについて

〔報告事項〕

- 1 2025 年度春季大会発表募集テーマについて
- 2 2024 年日本語教育国際研究大会（IGJLE2024）について
- 3 2025 年度日本語教育グローバル人材奨励プログラムの募集について
- 4 投稿者宛コメント作成時の副査による査読コメントの修正等にかかわる対応について
- 5 2024 年度第 1 回全委員会委員長会議（第二次中期計画評価ワークショップ）について
- 6 後援名義使用申請について

第 5 回常任理事会（10 月 27 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024 度第 4 回常任理事会議事録案について
- 2 2024 年度代議員懇談会の実施要領について

- 3 2024-2025 年度委員改選手続きの公募書類一式(公開版)について
- 4 2024-2025 年度代議員選挙・理事改選スケジュールおよび理事候補者推薦管理委員候補について
- 5 2024 年度コンプライアンス研修について
- 6 2025 年度宮地裕基金人材育成研修講座の応募要領案について

〔報告事項〕

- 1 2024 年度秋季大会調査研究推進セミナーについて
- 2 「世界中の日本語教育関係者のためのオンライン交流会」で利用中の外部サイトについて
- 3 2024 年度四国支部活動の計画変更について
- 4 尚友倶楽部への訪問について

〔その他〕

- 1 規程類の変更について
- 2 常任理事会後の報告等について
- 3 3 第三次中期計画骨子の検討について

第 6 回常任理事会（12 月 1 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024 年度第 5 回常任理事会議事録案について
- 2 2024 年度第 2 回理事会議事日程案について
- 3 2024-2025 年度代議員選挙管理委員候補および地域ブロック委員候補について
- 4 会員対応業務の変更について
- 5 理事会・常任理事会における議事の提案と報告にかかわる要領の改定について
- 6 2024 年度『日本語教育』論文賞選考部会員の指名について
- 7 2025 年度春季大会昼休み説明会使用申請について

〔報告事項〕

- 1 2024 年度秋季大会概況について
- 2 『日本語教育』投稿要領の改定について
- 3 2025 年度チャレンジ支援委員会「はじめて系」イベント変更について
- 4 令和 6 年秋の叙勲について
- 5 就業規則について
- 6 後援名義使用申請の承認について
- 7 中国支部集会でのクレームについて

〔その他〕

- 1 第 3 次中期計画骨子の検討について
- 2 大会懇親会の在り方について

第 7 回常任理事会（1 月 19 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024 年度第 6 回常任理事会議事録案について
- 2 2025 年度事業計画・予算について
- 3 2025 年度理事・監事の選出方法について
- 4 2025 年度代表理事の選出方法の具体案について

- 5 2024 年度秋季大会 大会若手優秀発表賞授賞候補者について
- 6 2025 年度以降の大会（オンライン実施）における発表形態について
- 7 地域発信企画と交流ひろばの運営方法の改定について

〔報告事項〕

- 1 『日本語教育』191 号（2025 年 8 月 25 日刊行）の寄稿について
- 2 常置委員会次期委員推薦候補者の調整状況について
- 3 2024 年度賛助会員の集いについて
- 4 後援名義使用申請の承認について

〔その他〕

- 1 第 3 次中期計画骨子の検討について
- 2 日本語教育グローバル・ネットワーク（GN）代表者会議について

第 8 回常任理事会（2 月 16 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- 1 2024 年度第 7 回常任理事会議事録案について
- 2 2024 年度第 3 回理事会議事日程案について
- 3 2025 年度重点項目・事業計画・予算について
- 4 2025 年度理事・監事候補者（案）について
- 5 常任理事会運営規程の改定について
- 6 第 3 次中期計画骨子の検討について
- 7 広報ツール SNS「X」の利用継続の可否に関する検討について

〔報告事項〕

- 1 2025 年度春季大会一般公開プログラムの広報開始について
- 2 2024 年度第 2 回全委員会委員長会議について
- 3 文部科学省との懇談会について
- 4 内閣府提出の事業変更届について

- (6) 公益法人としての手続きおよび体制の整備
公益法人として求められる所要の報告とともに、体制の整備（関係規程を含む）を進めている。なお、役員登記の手続きは継続中。
- (7) 事業の運営関係
これまでの評価を踏まえて、事業の企画・準備・実施等について運営のあり方について点検検討中。
- (8) 横断的事業の検討
全委員長会議を 3 回ほど開催するところ、第 1 回全委員長会議を第 2 次中期計画評価ワークショップとして、9 月 1 日に開催した。また、3 月 26 日に第 2 回全委員長委員長会議を開催した。

以上